

477. 中之島凧組合

事業成果

今年の大凧合戦は中止となったが、大凧や大凧揚げを身近に感じてもらうことの継続として、地域の大凧を作成した際に児童や、地域の方に実際に揚げ糸に触れてもらい籠を担いで重さの感じてもらうことが、感染の心配もなく体験できた。

来年度の大凧合戦に向けての、大凧絵付け作業時の密避けるためには、早目に開始しなければならず、寒い時期から始めることは、絵具の乾きが悪く、作業効率を心配したがファンヒーターの購入で効率よくできることになった。

